

最も遠い銀河

地球から約131億光年離れた銀河を発見したと、欧州の研究チームが発表した。日本の「すばる望遠鏡」(米ハワイ島)が見つけた約129億光年離れた銀河より遠く、観測史上、最も遠い銀河になる。遠いほど時期

も古く、宇宙誕生から6億年以内でできた銀河だという。21日付の英科学誌「ネイチャー」に掲載された。ハッブル宇宙望遠鏡の観測で昨年見つかった銀河を、南米チリの超大型望遠鏡(VLT)で詳しく観測した結果、距

131億光年先

離が分かった。

愛媛大の谷口義明教授は「宇宙で最初の銀河誕生の瞬間に手が届きつつある。画期的な成果だ」と話している。一方、国立天文台の家正則教授は「今回の銀河は、光の特徴が従来の銀河とかなり異なる。再確認も必要だ」と指摘している。

欧州の研究チーム発見